



テーマ	三菱 QnU シリーズ 内蔵 Ethernet ポートと V8 を接続		
該当機種	三菱 QnU シリーズ 内蔵 LAN 付き、V8 シリーズ Ethernet 対応機種	No. TI-M-1057-2	1/6

1. 接続環境

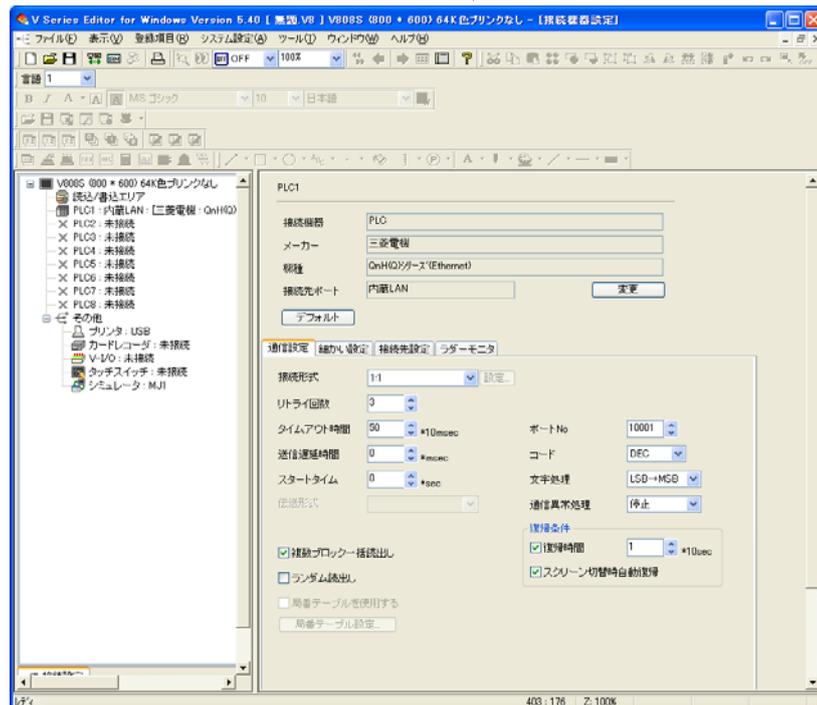
使用モニタッチ : V808iSD

使用 PLC : Q03UDECPU

使用ソフト : V-SFT Ver. 5.4.2.0 GX Developer Ver 8.72A

2. V-SFT 設定手順

- ① V-SFT を立ち上げます。モニタッチの機種と PLC の機種 [QnH(Q) シリーズ (Ethernet)] を選択し [OK] をクリックすると接続機器設定が表示されます。



- ② [通信設定]でPLC通信に使用するV8のポートNo.を1024~65535から任意設定します(※ No. 8001を除く)。
 [ランダム読出し]にチェックを入れます。

([ランダム読出し] チェックを入れると[複数一括読出し]のチェックが自動で外れます。)

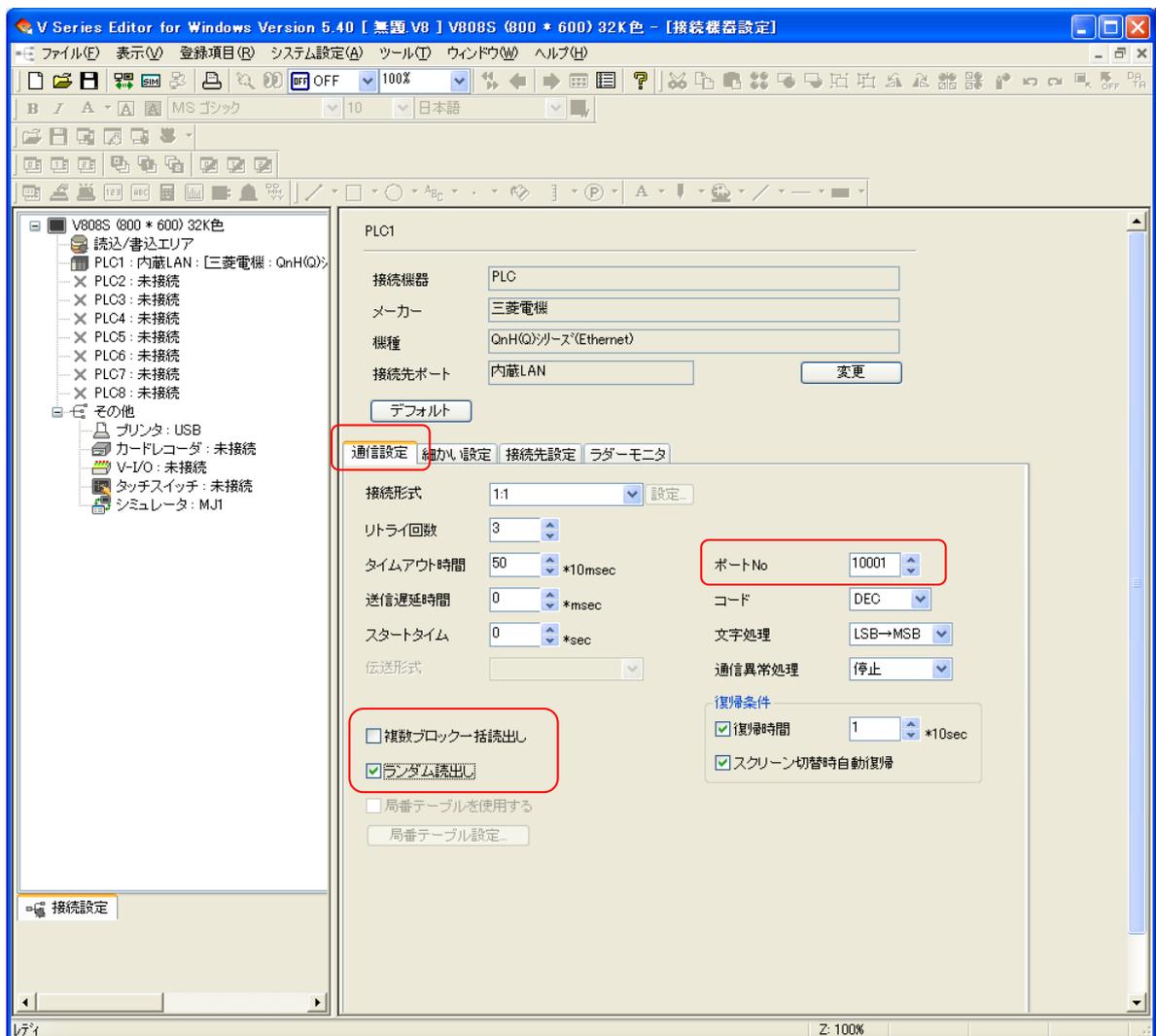
※ [ランダム読出し] の設定は、V-SFT Ver. 5.3.3.0より対応です。

それ以前のバージョンをお使いの場合は、アップデートをお願いします。

[複数ブロッカー一括読出し]のチェックは必ず外してください。

[複数ブロッカー一括読出し]にチェックがあると、

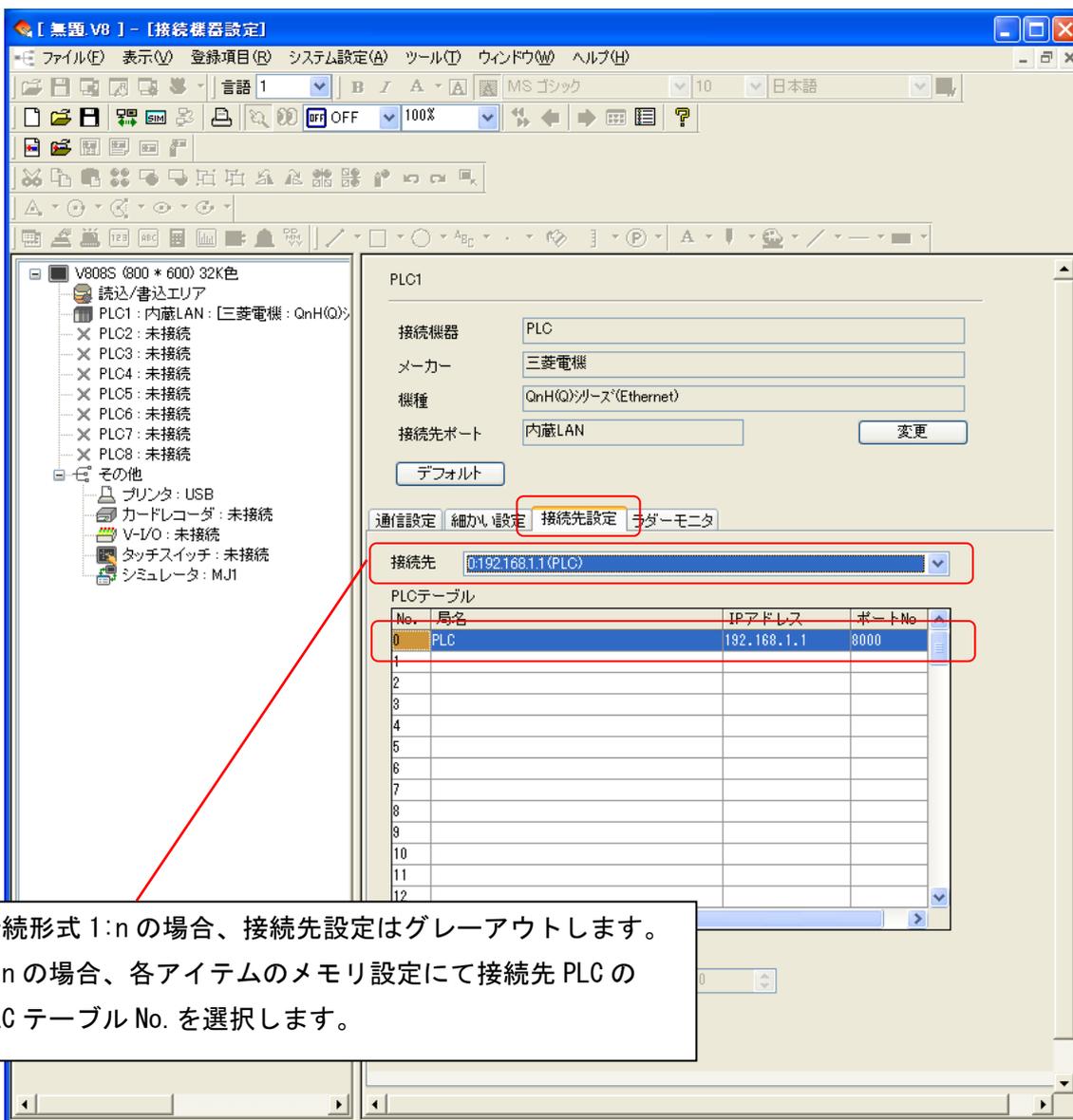
本体上に「異常コードを受信しました 受信コード C0590000」が表示され、通信できません。



③ [接続先設定]を表示させます。

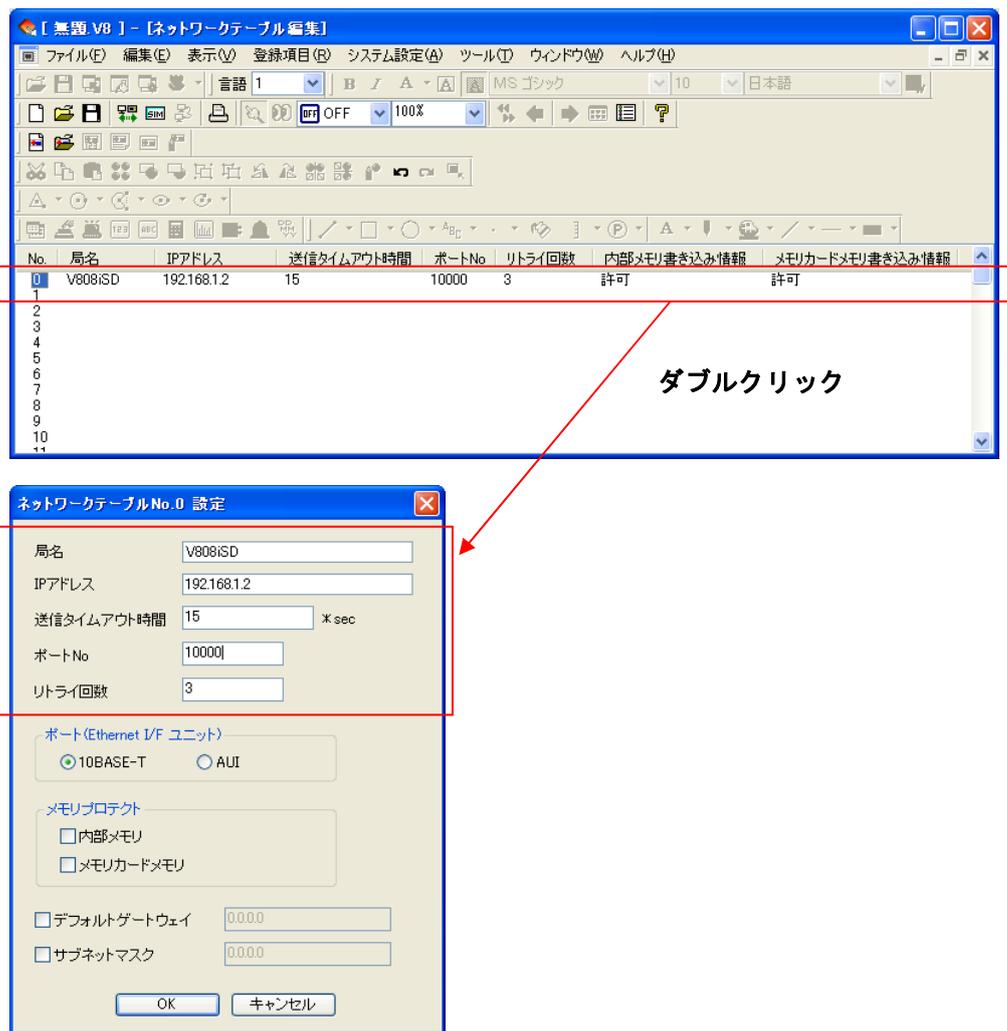
[PLCテーブル]に、接続するPLCとIPアドレス、ポートNo.を設定し、

[接続先]で接続PLCのIPアドレスをPLCテーブルより選択します。

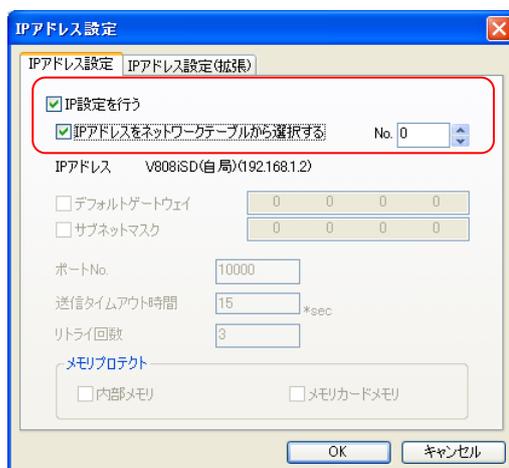


接続形式 1:n の場合、接続先設定はグレーアウトします。
 1:n の場合、各アイテムのメモリ設定にて接続先 PLC の
 PLC テーブル No. を選択します。

- ④ [システム設定]→[Ethernet 通信]→[ネットワークテーブル]で自局 (V8) の IP アドレスを登録します。



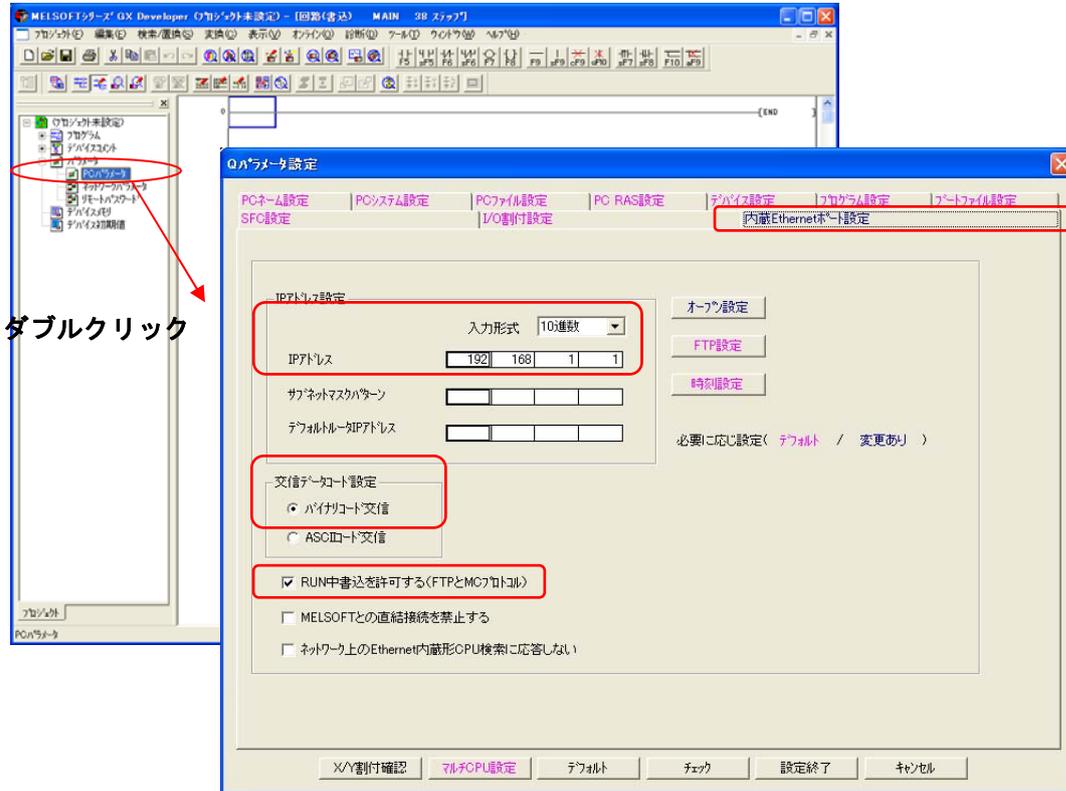
- ⑤ [システム設定]→[Ethernet 通信]→[自局 IP アドレス]で自局 (V8) の IP アドレスを設定します。
(※ 上記③, ④の設定を行わない場合、本体のメインメニューから IP アドレスを手動で設定する必要があります)



- ⑥ 画面データを本体に転送します。

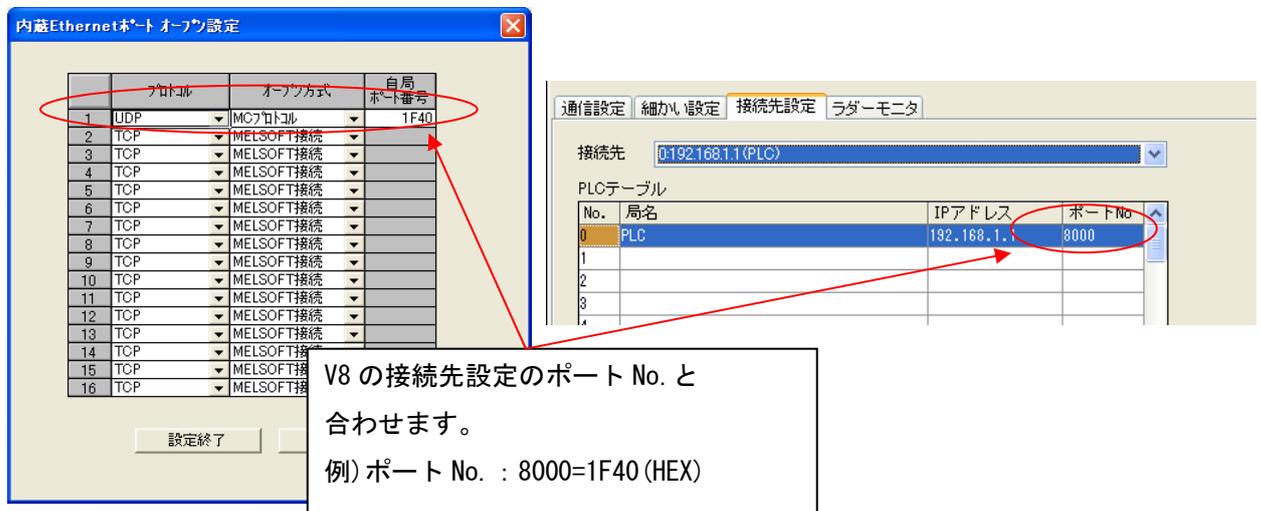
3. GX Developer 設定手順

- ① GX Developer を立ち上げます。
- ② [PC パラメータ]をダブルクリックし、[内蔵 Ethernet ポート設定]で PLC の IP アドレスを設定します。
[RUN 中書込を許可する(FTP と MC プロトコル)]にチェックを入れ、[送信データコード設定]をバイナリコード通信に設定し、[オープン設定]をクリックします。



- ③ [内蔵 Ethernet ポートオープン設定]が表示されます。

- ・ プロトコル : UDP
- ・ オープン方式 : MC プロトコル
- ・ 自局ポート番号 : V8 と通信する自局ポート番号を HEX で指定します (下図参照)



- ④ 以上の設定を PLC に書込み、PLC 電源を再投入します。

お問い合わせは...



発紘電機株式会社 技術相談窓口 TEL : 076-274-5130 FAX : 076-274-5208